

農業委員の推薦及び応募の状況(R0605)

【法人等推薦】

氏名	年齢	性別	経歴		認定農業者 該当・非該当	農業規模 (面積・a)	推薦する者	代表者氏名	目的	構成員数	構成員の資格 等	推薦理由	農地利用最 適化推進委 員への推薦 の有無
			年月日	経歴・職名等									
今井 輝彦	76	男	平成26年4月1日 ～令和2年8月31日 平成30年1月～	多賀土地改良区事務局長 やましろたけのこ部会監事 井手町支部長	非該当	51.49	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	今井 輝彦氏は、長年多賀土地改良区事務局長として務められました。現在も地域の農家と密接な繋がりを持ち、よき相談役として人望も厚く、信頼されており、地域農業の多くの課題を把握され、今後10年後を見据えた農地利用の最適化についての確立に向けた取組の実践について、今後も活躍していただきたいため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
平間 政一	67	男	平成27年6月～ 平成30年4月～ 令和5年7月～	井手町農業委員 京都府農業改良普及センター (嘱託) 京都やましろ農業協同組合理事	非該当	76	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	平間 政一氏は、平成27年6月から農業委員を務められ3期経験されています。地域の農業に関して、農業者の高齢化、後継者の不在、営農条件の悪い農地、それらによる今後の耕作放棄地発生などの課題を把握され、そのような課題を少しでも解消するため、地域の状況を把握し、農地の最適な利用を図るよう、農業委員として地域に踏み込んだ活動に取り組みされていたと、感じております。今後10年後を見据えた農地利用の最適化についての確立に向けた取組の実践について、今後も活躍していただきたいため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
杉山 徳子	72	女	平成30年6月～	井手町農業委員	非該当	50	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	杉山 徳子氏は、平成30年6月から農業委員を務められ2期経験されています。地域農業の事情に精通され、耕作放棄地を解消するため、熱心に個別訪問を行い、遊休農地を中間管理機構に貸し付けることを地権者に提案し、担い手につなぐ等、地域農業の振興に尽力されています。家族も地域の農業の担い手として、自身の農業だけでなく、多面的機能の活動団体立ち上げなど、頑張っておられます。今後10年後を見据えた農地利用の最適化についての確立に向けた取組の実践について、今後も活躍していただきたいため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
廣瀬 文度	66	男	平成23年度 令和5年度	水無区副実行組合長 水無区実行組合長	非該当	21.54	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	廣瀬 文度氏は会社を退職後、農業の後継者となり、地域の農業に関して、農業者の高齢化、後継者不足など自身の農業だけでなく、地域農業の振興に尽力されております。今後10年後を見据えた農地利用の最適化についての確立に向けた取組の実践について、今後も活躍していただきたいためJAより井手町農業委員会に推薦します。	無
寺島 正直	75	男	平成19年10月 平成27年10月 平成30年6月～	井手土地改良区監事 井手土地改良区理事 井手町農業委員	非該当	55	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	寺島 正直氏は、平成30年6月から農業委員を務められ2期経験されています。地域の農業実情に詳しく、井手土地改良区の会計理事を務めており、地域の農業用水の重要施設である大正池の管理等も定期的にも実施され、地域の保全活動団体の活動にも参加されるなど、営農と農業用施設といったソフトとハード面から地域農業を実践されておられます。今後10年後を見据えた農地利用の最適化の確立に向けた取組の実践にあたり、このようか知見を活かし、農業委員の職務を適切に対応することができるため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
西島 登	85	男	平成12年6月～ 平成18年6月 平成21年6月～ 平成13年4月～	井手町農業委員 井手町支店運営協議会委員 南区農業実行組合長	非該当	21	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	西島 登氏は、当JA支店運営協議会委員を長年務めていただいております。JAでは、支店運営委員会での地域の声を確認しながら、強い農業基盤を確立し持続可能な地域農業の実現に向け、担い手育成、農産物の生産振興、有害鳥獣被害対策を最重点に展開しています。そのためにも、高齢化が進展するなか、農地利用の最適化について農業委員会と密接に連携して取組を推進することが重要であることから、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
中坊 陽	65	男	平成18年6月～ 平成21年6月 平成24年6月～ 平成27年11月～ 令和5年7月～	井手町農業委員 井手土地改良区理事長 京都やましろ農業協同組監事	認定農業者 に準ずる者	146	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	中坊 陽氏は長年農業委員を務められ、地域の農業実情に詳しく、農業者の高齢化、後継者不足、農産物の生産振興など、自身の農業だけでなく、地域農業の振興に尽力されております。10年後を見据えた農業利用の確立に当たり、今後も活躍していただきたいため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無
高田 勇	74	男	平成30年5月28日	井手土地改良区総代	非該当	5	京都やましろ農業協同組 合 井手町支店	店長 橋本 美由紀	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地域の向上を図ることを目的とする。	1,294人 正440 准854	正組員:農地を所有している者 准組員:JAの活動に関わる者	高田 勇氏は田が土地改良区総代を経験されています。地域農業及び農業事情に精通し、地域農家の良き相談役としての役割も担い、地域農業の発展に必要な方です。今後の地域農業発展に向けてご活躍していただきたいため、JAより井手町農業委員会に推薦します。	無

【応募】

氏名	年齢	性別	経歴		認定農業者 該当・非該当	農業規模 (面積・a)	農地利用最適化推進委員 への推薦の有無	応募理由
			年月日	経歴・職名等				
寺島 正昭	68	男	平成18年6月	井手町農業委員	認定農業者 に準ずる者	74	無	前任の農業委員さんから推薦を受けましたから応募致しました。そして荒地(田・畑)をなるべく少なくしたいと思っております。
谷田 利一	71	男			非該当	-	無	自身は農業に従事していませんが、地域の方との話や近年の農業を取り巻く状況は高齢化や有害鳥獣被害などにより一段と厳しいものになっていると感じます。そのような状況のなかであっても、課題を少しでも解消するため、地域の状況を把握し、農地の最適な利用を図るよう活動したいと思っています。また、町議会議員という立場から、中立委員として中立的な視点から活動を図っていきたく考えています。